授業科目	基礎看護学実習Ⅰ	単位数	1	時間数	45
担当講師 （実務経験）	専任教員（看護師　臨床実務経験有） 実習指導者（臨床看護師）				
科目目標	１．患者の入院生活における生活行動の未充足について理解する。 ２．受け持ち患者とコミュニケーションが図れる。 ３．受け持ち患者の療養生活の環境調整ができる。 ４．患者の日常生活の援助は基本をふまえながら実施する。 ５．専門職業人としての基本的態度を養う。				

授業内容	授業方法	場所
１．患者の入院目的、症状、治療上の制限を理解する ２．患者の日常生活行動を観察し、ニードの充足・未充足状態について考える ３．患者の行動や態度、表情・言葉を観察する ４．関係構築のためのコミュニケーションについて、分析・考察する ５．患者の入院環境を観察し、療養生活の環境調整をする ６．日常生活援助を実施する 1)　患者の身体状態をフィジカルアセスメントする 2)　安全・安楽・自立の視点で援助目標を立案する 3)　安全・安楽・自立に配慮し、援助計画を立案する 4)　援助計画に沿って援助を実施する 5)　患者の反応、援助の効果を振り返り、援助計画を修正する	病院実習 39 時間 実践活動外学習 6 時間	関西労災病院

評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。
評価基準	60 点以上で合格

授業科目	基礎看護学実習Ⅱ	単位数	2	時間数	90
担当講師 （実務経験）	専任教員（看護師　臨床実務経験有） 実習指導者（臨床看護師）				
科目目標	１．患者の入院生活における日常生活ニーズについて理解する。 ２．看護に必要な状況をアセスメントし、問題を明確化する。 ３．日常生活ニーズを充足する看護を安全、安楽に実施する。 ４．看護の体験を通して、援助的人間関係について考える。 ５．専門職業人としての基本的態度を養う。				

授業内容	授業方法	場所
１．患者の疾患や治療を理解する ２．患者の日常生活の変化を理解する ３．患者の日常生活行動をアセスメントする ４．患者を身体的・心理的・社会的側面から捉える ５．患者の全体像から日常生活ニーズを明らかにする ６．患者の日常生活ニーズに応じた援助目標を設定する ７．安全・安楽・自立を考慮した援助計画を立案する ８．援助計画に沿って、援助を実施する ９．行った援助について、評価・修正を行う 10．患者とのコミュニケーション場面をプロセスレコードを用いて振り返る 11．体験を通して、患者‐看護師関係の構築に必要な要素について自分の考えを述べる	病院実習 84 時間 実践活動外学習 6 時間	関西労災病院

評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。
評価基準	60 点以上で合格

授業科目	基礎看護学実習Ⅲ	単位数	2	時間数	90
担当講師 （実務経験）	専任教員（看護師　臨床実務経験有） 実習指導者（臨床看護師）				
科目目標	１．疾患や治療から回復過程にある生活行動に障害のある患者を理解する。 ２．機能回復を促進、合併症予防のための看護を実施する。 ３．多様な援助ニーズから優先度を判断し、安全性、安楽性、自律性を尊重した看護を実践する。 ４．看護の体験を通して、援助的人間関係について考える。 ５．専門職業人としての基本的態度を養う。				

授業内容	授業方法	場所
１．患者の身体的理解（疾病、機能障害の程度） ２．患者・家族の心理・社会的理解 ３．患者の解決能力と限界 ４．看護診断の活用 ５．看護計画の立案 ６．合併症の早期発見や二次的障害を予防する看護 ７．生活行動の自立を目指す患者の看護と考察	病院実習 80 時間 実践活動外学習 10 時間	関西労災病院

評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。
評価基準	60 点以上で合格

授業科目	地域・在宅看護論実習	単位数	2	時間数	90
担当講師 （実務経験）	専任教員（看護師　在宅看護領域での臨床実務経験有） 実習指導者（各実習場所の実務看護師）				
科目目標	１．地域包括支援センターでの相談内容や介護予防の実際を通して、地域で暮らす人の健康上のニードを理解する。 ２．病院から在宅に向けての退院調整の実際を通して、継続看護のあり方を理解する。 ３．在宅で療養する人の健康状態・生活状況を理解する。 ４．家族の介護の実際・生活状況を理解する。 ５．在宅で療養する人・家族の生活条件を考えた日常生活援助を行う。 ６．保健医療福祉チームの関連職種との連携や社会資源の活用を理解する。 ７．専門職業人としての基本的態度を養う。 ８．在宅ケアシステムとチームアプローチの実際、あらゆる場における看護の役割について理解する。				

授業内容	授業方法	場所
１．地域包括支援センターの活動内容を見学する ２．退院調整看護師に同行し、退院支援場面を見学する（退院支援カンファレンス、退院前合同カンファレンス） ３．ＭＳＷに同行し、転院調整場面を見学する ４．ＰＦＭ場面の見学 ５．前方支援についての説明を受ける ６．訪問看護師に同行し、在宅看護場面の見学をする ７．訪問看護計画を立案する ８．訪問看護師とともにケアの実践を行う ９．ケアマネージャーに同行し、ケアマネジメントの実際を見学する	実習 82.5 時間 実践活動外学習 7.5 時間	地域包括支援センター 関西労災病院医療連携総合センター 訪問看護ステーション

評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。
評価基準	60 点以上で合格

授業科目	老年看護学実習	単位数	2	時間数	90
担当講師 （実務経験）	専任教員 実習指導者　（各実習場所の看護師、介護福祉士等）				
科目目標	１．地域社会で生活する高齢者の多様性について理解する。 ２．生活の支援が必要な高齢者について理解する。 ３．高齢者との関わりを通して、その人らしく生活できる環境、高齢者を尊重する態度、権利擁護について理解する。 ４．専門職業人としての基本的態度を養う。				

授業内容	授業方法	場所
１．現地オリエンテーション ２．社会参加活動を行う高齢者の理解 ３．デイサービスを受ける高齢者の理解 ４．高齢者の生活の場として安全で快適に過ごせる ５．加齢に伴う変化と生活への影響の理解 ６．高齢者の日常生活援助の実際の理解 ７．高齢者を尊重する態度について	シニアカレッジ 7.5 時間 デイサービス 8 時間 特別養護老人ホーム 42 時間 つどい場さくらちゃん 2 時間 エプロンの会 5 時間 実践活動外学習 25.5 時間	兵庫県阪神シニアカレッジ 通所介護施設 特別養護老人ホーム NPO 法人つどい場さくらちゃん 関西労災病院

評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。
評価基準	60 点以上で合格

授業科目	小児看護学実習	単位数	2	時間数	90
担当講師 （実務経験）	専任教員 実習指導者（小児科外来看護師　保育士等）				
科目目標	１．健康な乳幼児の成長発達を支援する保育の在り方について実践を通して学ぶ。 ２．健康な学童の成長発達を支援する関わりについて実践を通して学ぶ。 ３．外来受診時の子どもと家族の反応を理解し、病院における看護師の役割について学ぶ。 ４．自己の子ども観を明らかにし、小児看護のあり方について考察する。 ５．専門職業人としての基本的態度を養う。				

授業内容	授業方法	場所
１．保育所における乳幼児の生活環境の理解 ２．乳幼児期の成長発達の特徴と支援についての理解 ３．保育所における子どもの発達を支援する養護についての理解	保育所実習 28 時間	尼崎市立保育所 計 18 カ所
４．児童ホームにおける学童期の生活環境の理解 ５．学童期の成長発達の特徴と支援についての理解 ６．学童期における遊びまたは健康教育の企画	児童ホーム 14 時間	尼崎市児童ホーム 計 6 カ所
７．健康障害が子どもと家族に与える影響についての理解 ８．外来受診における看護、子ども・家族の反応の理解 1）診察時の看護 2）予防接種時の看護 3）乳幼児健診時の看護、乳児の身体計測	病院外来実習 24 時間	関西労災病院 小児科外来
９．小児看護の目的・役割についての考察 1）ヘルスプロモーションの視点 2）権利擁護の視点 3）緊張緩和のための看護の視点 4）感染・安全管理の視点	実践活動外学習 24 時間	

評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。
評価基準	60 点以上で合格

授業科目	母性看護学実習	単位数	2	時間数	90
担当講師 （実務経験）	専任教員（当該領域の臨床実務経験有　助産師） 実習指導者（臨床助産師・看護師）				
科目目標	１．妊婦の身体的・心理的・社会的変化をふまえた保健指導の必要性が理解できる。 ２．褥婦の身体的・心理的・社会的変化が理解できる。 ３．産褥期の経過および母親役割獲得のための援助について看護計画が立案できる。 ４．新生児の生理的変化が理解できる。 ５．新生児の胎外生活適応を促進するための援助ができる。 ６．実習中の体験を通して、妊婦・産婦・褥婦・新生児への看護について考える。 ７．専門職業人としての基本的態度を養う。				

授業内容	授業方法	場所
１．妊婦および胎児のヘルスアセスメント ２．妊婦の身体計測 ３．褥婦と新生児のヘルスアセスメント ４．褥婦と新生児の健康診査技法 ５．褥婦の全身回復・子宮復古促進のための援助 ６．褥婦が希望する授乳方法への援助 ７．愛着形成を促進するための援助 ８．新生児の日常生活援助 ９．母親役割促進のための看護についての考察	母子受け持ち実習 60 時間 妊婦健診実習 8 時間 実践活動外学習 （産褥集団指導案作成 および模擬指導他） 22 時間	関西労災病院 産婦人科病棟 産婦人科外来

評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。
評価基準	60 点以上で合格

授業科目	精神看護学実習	単位数	2	時間数	90
担当講師 （実務経験）	専任教員 実習指導者（各実習場所の臨床看護師）				
科目目標	１．疾病や治療、環境要因が精神状態に及ぼす影響を知り、こころの健康課題や病を持つ人や家族を理解する。 ２．患者の強みを活かし、セルフケア能力向上のための援助が理解できる。 ３．自己洞察を深め、自己の傾向に気づきながら患者と治療的関係を築くことができる。 ４．こころの健康課題や病を持つ人が、地域社会でその人らしい生活ができるための看護が理解できる。 ５．実習での体験をふまえて精神看護のあり方について考察することができる。 ６．専門職業人としての基本的態度を養う。				

授業内容	授業方法	場所
１．疾患・治療と精神状態、心理的反応が日常生活に与える影響について ２．患者の行動の理由と患者が抱える生きづらさ ３．日常生活の自立の程度のアセスメント ４．治療の場、生活の場としての環境のあり方と安全管理 ５．患者の強みを活かし、日常生活の自立に向けた援助 ６．精神に障がいを持ち、地域で生活するということ ７．地域生活を支える制度やサポート、看護の役割 ８．精神看護のあり方	病院実習 90 時間	伊丹天神川病院

評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。
評価基準	60 点以上で合格

授業科目	周手術期看護実習	単位数	2	時間数	90
担当講師 （実務経験）	専任教員 実習指導者（臨床看護師）				
科目目標	１．周手術期にある患者を対象の特性をふまえて理解する。 ２．手術療法を受ける老年期の患者の生命維持、苦痛の緩和、回復を促すための看護を学ぶ。 ３．看護の体験を通して手術を受ける患者の看護について考える。 ４．専門職業人としての基本的態度を養う。				

授業内容	授業方法	場所
１．実習オリエンテーション ２．術前の情報から患者の手術に伴う潜在的リスクのアセスメントと合併症予防の援助 ３．術後合併症の観察及び予防の援助 ４．患者の手術に伴う身体的・心理的・社会的状況の理解 ５．出現している症状・治療に伴う苦痛の緩和の援助 ６．立案した共同問題に基づき術後合併症の観察及び予防の援助を看護師とともに実施 ７．患者自らが獲得しなければいけない合併症を回避するための日常生活の方法や自己管理に向けて看護計画を立案し実施 ８．周手術期看護についてのまとめと 3 週間の実習の評価	病院実習 80 時間 実践活動外学習 10 時間	関西労災病院

評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。
評価基準	60 点以上で合格

授業科目	慢性期看護実習	単位数	2	時間数	90
担当講師 （実務経験）	専任教員（当該領域での臨床実務経験有） 実習指導者（臨床看護師）				
科目目標	１．慢性疾患をもつ患者を対象の特性をふまえて理解する。 ２．患者及び家族のセルフマネージメントに向けた援助を行う。 ３．患者との関わりを通して、セルフマネージメントを支援する看護について考察する。 ４．専門職業人としての基本的態度を養う。				

授業内容	授業方法	場所
１．患者の理解（疾患のコントロールの程度、生活習慣、発達段階） ２．疾病や症状に応じた患者の援助 ３．疾病のコントロールに向けた患者・家族の心理的援助 ４．疾病のコントロールに向けた患者・家族の生活の援助 ５．慢性疾患を持つ患者の不安や葛藤についての考察 ６．実施した指導・看護の意味づけ ７．慢性期における看護師の役割についての考察	病院実習 76 時間 実践活動外学習 （血糖測定演習他） 14 時間	関西労災病院

評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。
評価基準	60 点以上で合格

授業科目	終末期看護実習	単位数	2	時間数	90
担当講師 （実務経験）	専任教員（当該領域での臨床実務経験有） 実習指導者（臨床看護師）				
科目目標	１．がんに罹患し、治癒困難な状態にある患者の全人的苦痛を理解する。 ２．患者・家族の苦痛を緩和し、対象にとって最大限の QOL を保つための支援をする。 ３．がんとともに生活する対象へのチーム医療の重要性と看護師の役割について理解する。 ４．患者との関わりを通して治癒困難な状態にある患者と家族への看護について考える。 ５．専門職業人としての基本的態度を養う。				

授業内容	授業方法	場所
１．治療困難な状態にある患者を全人的（身体的・精神的・社会的・スピリチュアル的）に捉え、抱える苦痛を理解する。 ２．患者を全人的に捉えてアセスメントしたことから、共同問題・看護診断を活用し、苦痛・不快を緩和する援助方法を見出す。 ３．患者の苦痛の程度・体力の消耗を最小限にして、その人が希望する生活を整える援助を実践する。 ４．患者・家族の意思や希望を支える関わりについて、自らの援助を振り返りから考察する。	病院実習 80 時間 実践活動外学習 10 時間	関西労災病院

評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。
評価基準	60 点以上で合格

<table>
<tr><td>授業科目</td><td>統合実習</td><td>単位数</td><td>2</td><td>時間数</td><td>90</td></tr>
<tr><td>担当講師
（実務経験）</td><td colspan="5">専任教員（臨床実務経験有）
実習指導者（看護師長　看護師長補佐　臨床看護師）</td></tr>
<tr><td>科目目標</td><td colspan="5">１．複数の患者を受け持ち、ケアの優先度を判断し、計画的に安全に実践する。
２．看護単位の看護管理の実際を知る。
３．チーム医療の中で多職種との連携・調整の実際を知る。
４．専門職業人としての基本的態度を養う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">授業内容</td><td colspan="2">授業方法</td><td colspan="2">場所</td></tr>
<tr><td colspan="2">１．複数患者のケアの安全な実施
２．多重課題に対する優先順位の決定と時間管理
３．病棟単位での看護管理の実際
４．チームナーシングとメンバーとしての役割
５．多職種との連携・協働
６．看護チームの一員としての報告・連絡・相談</td><td colspan="2">病院実習
80 時間

実践活動外学習
（紙面事例を用いた複数患者のケアの優先度判断の演習他）
10 時間</td><td colspan="2">関西労災病院</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="5">実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。</td></tr>
<tr><td>評価基準</td><td colspan="5">60 点以上で合格</td></tr>
</table>